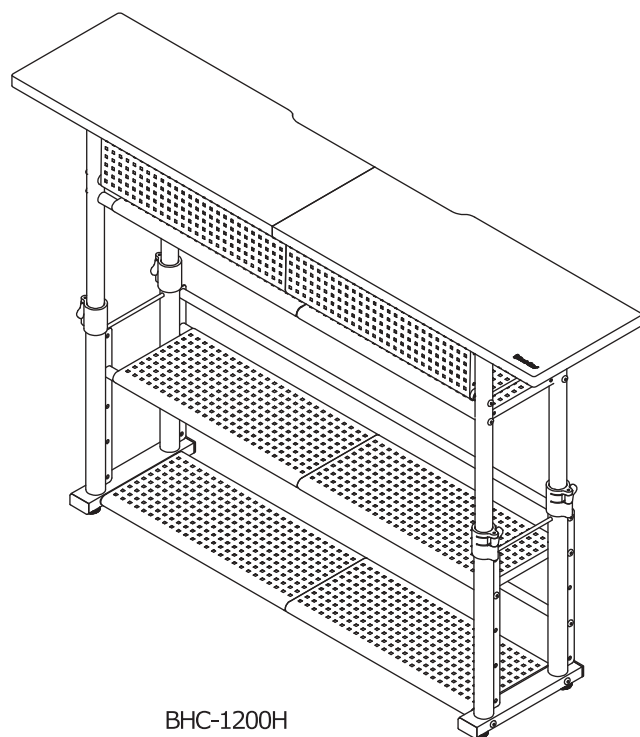
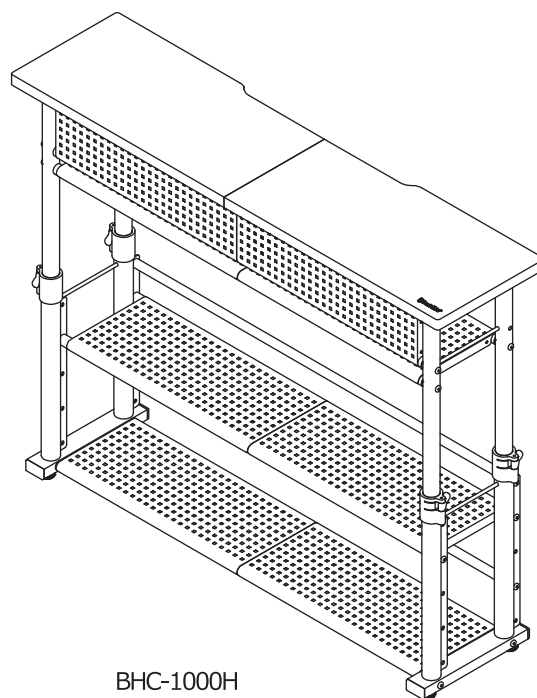




エクステンションデスク BHC-1200H / BHC-1000H 取扱説明書



BHC-1200H



BHC-1000H

**※小さなお子様のご使用になる場合は※
保護者の方が当取扱説明書をよくお読みになり、使用中はお子様につき添ってください。**

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用の際は必ず本書をお読みいただき、ご理解の上、正しくご使用ください。また、お読み頂いた後も、この説明書は大切に保管してください。お買い上げ日、または商品到着日から7日間以内に、不具合が無いかをご確認くださいませよう願いたします。

該当期間を過ぎた場合は、製品保証の対象外となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

本製品はデスクとして使用されることを目的としています。それ以外の使用目的で使用しないでください。本製品に関する最新の情報、サポート情報等は、下記サイトでご確認いただけますので、定期的にご覧ください。

<http://www.bauhutte.jp/>

※当説明書内容の無断転用を禁止します。

Copyright 2018 BE-S CO., LTD. All rights reserved

FOR USE IN JAPAN ONLY

使用者は、必ずこの取扱説明書の内容を理解してからご使用下さい。
Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 組み立てのご注意

- 組み立てる前に、必ず各部品に不具合がないかご確認ください。
- 組み立て作業は、2人以上で行ってください。
- 怪我や汚れを避けるために必ず手袋を着用して組み立て作業を行ってください。
- 組み立て時は床などを傷つけないように十分にご注意ください。
- ボルトを締める前にネジ穴を確認し、異物があればきれいに取り除いてください。
- ボルトで固定する部品は、まず軽く全てのボルトを仮止めし、部品がしっかりと組み合わさったことを確認してから再び全てのボルトをしっかりと締めてください。
- 各部品はしっかりと固定してください。締め付け、かみ合わせが緩いと危険です。
- 開梱時、製品に使用されている塗料・接着剤等の臭いがこもっていることがあります。時間と共に臭いは減少しますが、臭いに過敏な方、化学物質に対するアレルギーのある方は、定期的に換気をするなどして組み立ててください。

⚠ 使用上のご注意

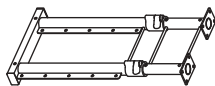
- 直射日光の当たる場所や戸外、暖房機器などの熱風が当たる場所や高温になる場所、多湿な場所で使用、放置、保管しないでください。変形や劣化・破損、火傷の原因となり、怪我をする恐れがあります。
- 本製品のいずれかの部品にひび、破損などの異常が生じた場合はすぐに使用を中止してください。怪我をする恐れがあります。
- 全てのボルトをしっかりと締め、正しく組み立ててください。また、ボルトに緩みがないかご使用前に確認してください。誤った組み立てやボルトの緩みは、破損、怪我の原因となります。
- 本製品の上に立ったり、脚立代わりに使用したりしないでください。転倒して怪我をする恐れがあります。
- 本製品の脚部を浮かし、傾けて使用しないでください。製品が転倒して破損する恐れがあります。
- 強度不十分な場所への設置、使用はおやめください。特に床の強度、材質などを十分確認した後、ご使用ください。
- 天板を昇降させる際には、必ず2人で右側の支柱と左側の支柱をそれぞれ両手でつかみ、調節を行ってください。
- 天板を昇降させる際には手や指を挟まないように十分注意してください。
- 製品を使用する前に、必ず昇降部分のストッパーが固定されていることを確認してください。
- 限界線より、脚部のパイプを引き上げないでください。怪我や故障の原因となります。
- 天板の上にパソコンや荷物などを置いた状態で天板を昇降させないでください。転倒や落下物で怪我をする恐れがあります。
- 加熱した鍋や湯沸かし器など、高温のものを直接置かないでください。変形や火傷の原因となります。

■ メンテナンス・廃棄方法

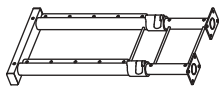
- 定期的にボルトがしっかりと締まっているか、製品全体を点検してください。
- 汚れを拭き取る際は、柔らかい布で乾拭きしてください。取れにくい汚れの場合は薄めた中性洗剤で拭き取り後、水拭きしてから乾拭きしてください。
- 本製品を廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従って廃棄してください。
- アルコール、ベンジン、磨き粉などは使用しないでください。

■ 付属品

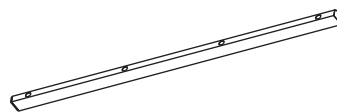
① 脚部 (右) ×1



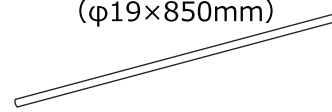
② 脚部 (左) ×1



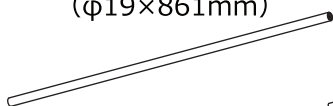
③ 天板接続ポール ×2



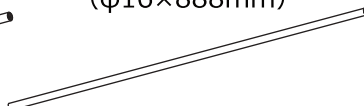
④ ポール ×2
(φ19×850mm)



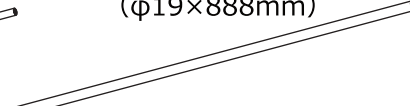
⑤ ポール ×4
(φ19×861mm)



⑥ ポール ×2
(φ16×888mm)



⑦ ポール ×2
(φ19×888mm)



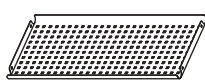
⑧天板 (右) ×1



⑨天板 (左) ×1



⑩パンチング板 (大) ×6



⑪パンチング板 (小) ×2



⑫ボルト (黒) ×4
(1/4"×55mm)



⑬ボルト (銀) ×8
(1/4"×45mm)



⑭ボルト (黒) ×8
(1/4"×29mm)



⑮ボルト (黒) ×24 (予備×2)
(1/4"×15mm)



⑯高さ調節ネジ ×4



⑰六角レンチ (M4) ×1



■ 組み立て手順

確実な組み立てのため、ボルトをまず手で回してください。



ネジ穴にまっすぐボルトが入ったことを確認し、全ての部品を組み合わせてから、最後に六角レンチでしっかりと増し締めしてください。

最初にきつくボルトを締めてしまうと、後から組み立てる部品においてボルトとネジ穴位置が合わなくなることがあります。

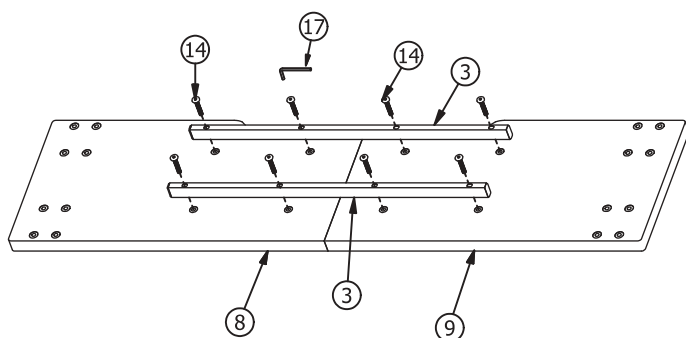
無理な力で斜めにねじ込むと、ネジ穴がつぶれボルトが入らなくなります。

※この場合、製品保証の対象外となりますのでご注意ください。

※しっかりと固定する為にボルトを強く押し当ててねじ込んでください。

(1) 天板を組み立てます。

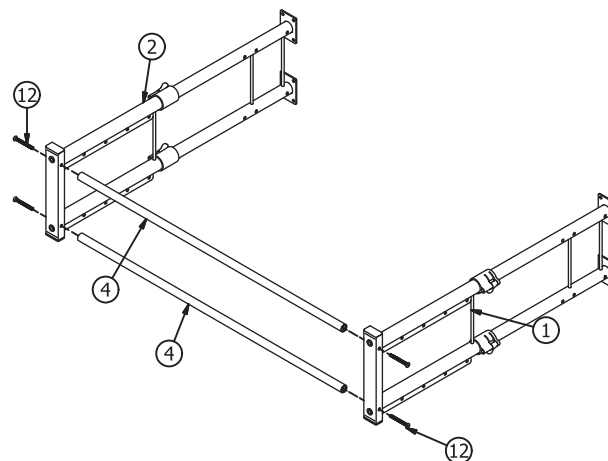
⑧天板(右)と⑨天板(左)を、③天板接続ポールで繋ぎ、1枚の板にします。



(2) 脚部と棚を組み立てます。

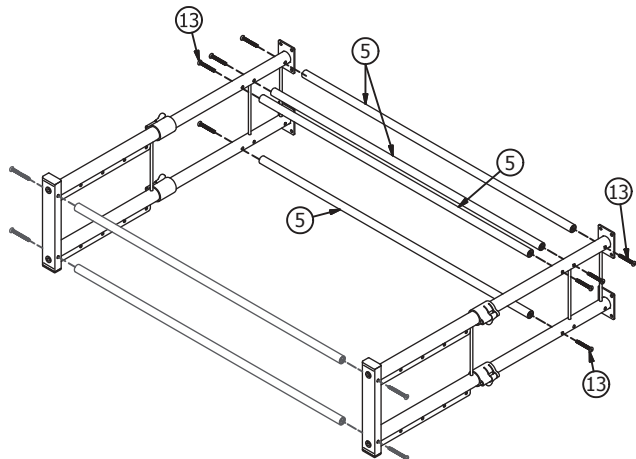
④ポールを、脚部の一番下の穴に取り付けます。

※六角レンチを使って締め込まず、仮組み状態にしてください。



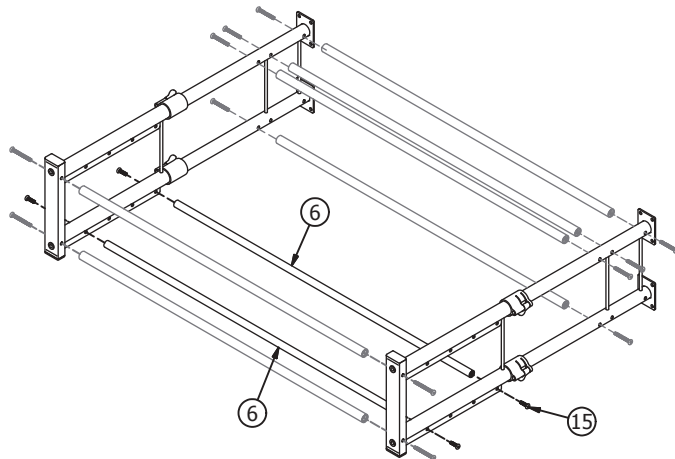
- (3) ⑤ポールを、脚部の上から3番目の穴前後に取り付けます。⑪パンチング板(小)は、前面・後面をお好みに設置可能です。取り付けたい面の上から1・2番目の穴に⑤ポールを取り付けてください。

※六角レンチを使って締め込まず、仮組み状態にしてください。



- (4) ⑥ポールを、脚部の後面下から2番目に取り付けます。中段の棚板位置はお好みに2段階の高さが選べます。脚部の後面下から4番目または5番目の穴に⑥ポールを取り付けてください。

※六角レンチを使って締め込まず、仮組み状態にしてください。

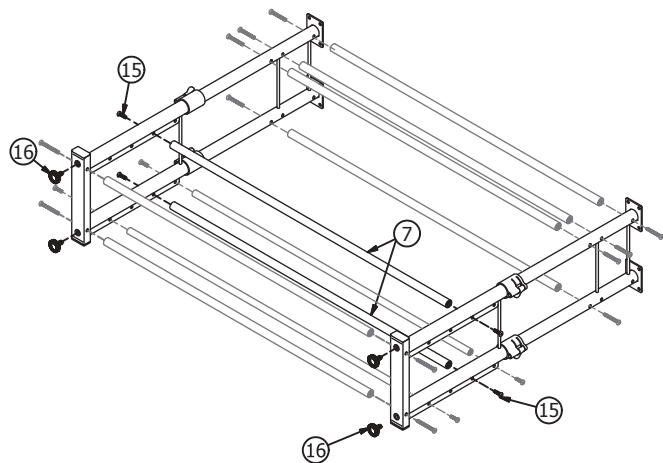


- (5) ⑦ポールを、(4)で取り付けた中段の⑥ポールの1段下の穴の前後に取り付けます。

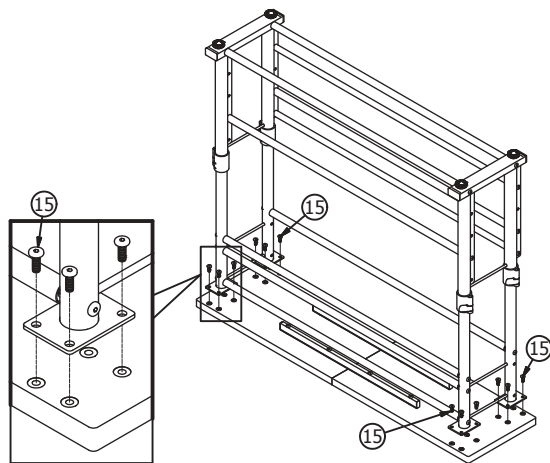
※中段⑥ポールが下から4番目→⑦ポールは下から3番目。

※中段⑥ポールが下から5番目→⑦ポールは下から4番目。

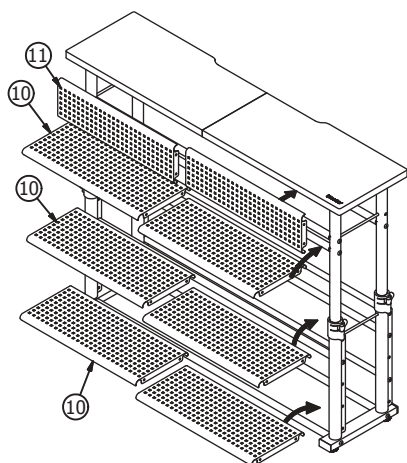
※六角レンチを使って締め込まず、仮組み状態にしてください。



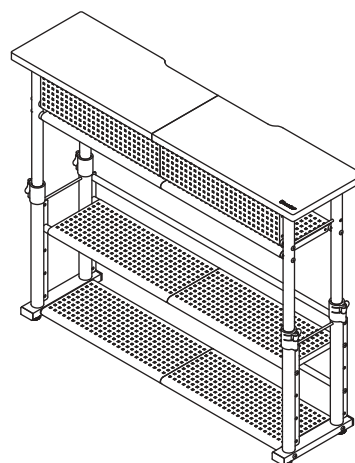
- (6) (5)で組んだ脚部に、(1)の天板を取り付けます。天板のボルトが全てまっすぐ入ったことを確認後、(2)~(5)で仮組みしていたボルトを六角レンチでしっかりと締めます。



- (7) ⑩パンチング板(大)・⑪パンチング板(小)を取り付けます。



- (8) 完成です。



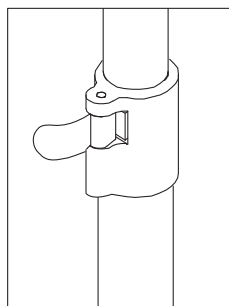
機能説明

■ 高さの調整方法

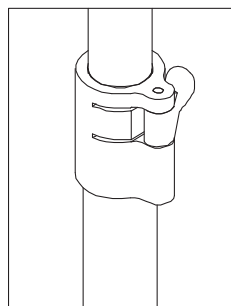
※ 天板の上に荷物を置いた状態で天板を昇降させないでください。
転倒や落下物で怪我をする恐れがあります。

① 脚部にあるレバーロック4ヶ所を解除します。

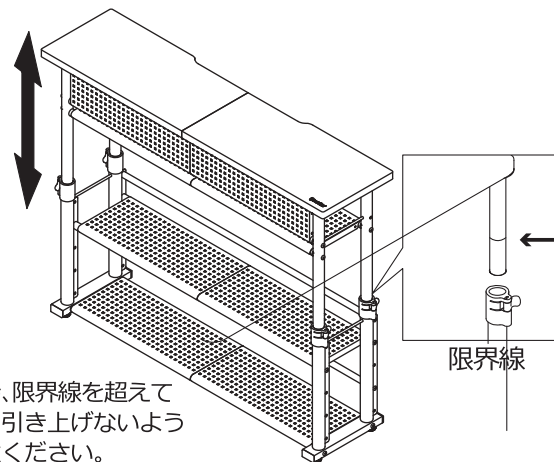
解除されている状態



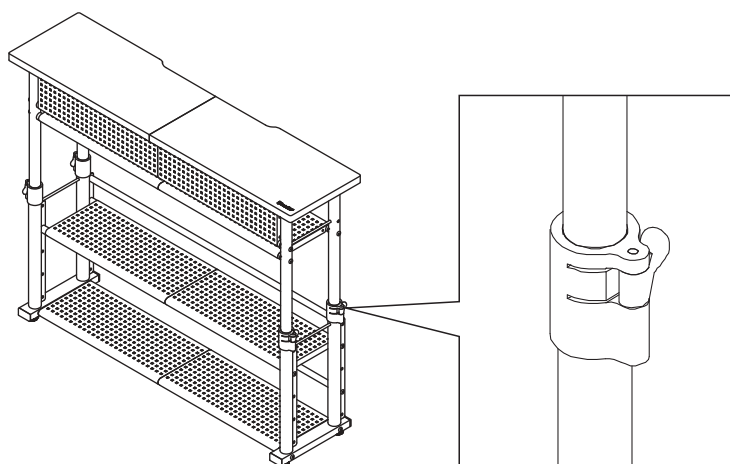
ロックされている状態



② 天板が床と平行になっていることを確認し、
天板をお好みの高さに調節します。



① 脚部にあるレバーロック4ヶ所をロックし、
完了です。



品質表示

型番	BHC-1200H	BHC-1000H
寸法	幅 1200mm × 奥行き 250mm × 高さ 590mm(590~800mm)	幅 1000mm × 奥行き 250mm × 高さ 590mm(590~800mm)
甲板の表面材	合成樹脂化粧繊維板（塩化ビニル樹脂）	
表面加工	脚部・棚板: エポキシ粉体塗装	
原産国	台湾	
耐荷重	天板 20kg 未満, 上段 10kg 未満, 中段 10kg 未満, 下段 10kg 未満	

当社の耐荷重設定は、天板全体に等しく荷重をかけた状態での試験結果を基に表記しています。

- 天板のストッパー真上に集中して荷重をかけないようにしてください。天板が下がり、怪我や破損の原因となる可能性があります。
- 天板に過度な荷重をかけたり、ストッパー真上に集中して荷重をかけ続けると、ストッパーの固定が弱まり、天板が下がりやすくなる可能性があります。
- 本製品は、モニターなどのPCデバイスを載せるデスクとして使用されることを目的としています。重い荷物を載せたり、もたれかかったりしないでください。怪我や破損の原因となる可能性があります。

